

経済倶楽部便り

◆東京◆ 4月に刊行した会員名簿の収録項目で、思わぬ反響を呼んでいるのが出身高校欄です。出身地の項目もあるので、同郷かどうかはすぐわかります。それにプラスして、青春期を同じ学校で過ごしたとなると、会員間でますます会話が弾むようです。

さて9月の講演会には、山内昌之氏（東京大学大学院教授）、川本裕子氏（早稲田大学大学院教授）、田中秀征氏（福山大学客員教授、元経済企画庁長官）、上野泰也氏（みずほ証券チーフマーケットエコノミスト）をお招きします。23日は祭日のためお休みです。

新会員を紹介します（順不同）。オシダ企画・押田信昭氏、風早努・山九顧問、CFP・田中公夫氏、原田幸春・師岡熊野神社権禰亘、村上哲也・内藤証券投資情報本部執行役員投資情報本部長。（塚田 紀史）

◆中部◆ 8月中旬、岐阜商工会議所から電話があり、運営受託している岐阜経済倶楽部が「会員数の減少などから来年3月で解散する方針。ついては、継続を希望する会員を中部経済倶楽部に紹介したい」とのこと。聞くとところでは現在、会員数が19名。「昔は名古屋市内の御園座に行くのにバス一台では足らなかつた」と言いますから、隔世の感があります。しかし、年会費9600円では東京などから有名な評論家や学者は招けないとのこと。名古屋市と一体で中京都構想を打ち上げた愛知県ではないですが、より質の高い情報やサービスを求めるなら規模拡大も意味があります。岐阜経済倶楽部の継続希望者の多くは「講演録」の購読を希望されているとのこと。であれば、なおのこと中部経済倶楽部にも参加していただければと思います。

9月の講演会は櫛田誠希・日本銀行名古屋支店長、藤巻健史・フジマキジャパン社長、澤上篤人・さわかみ投信会長を予定しています。（日暮 良一）